## (上月社 新刊のご案内

2025 年 10 月上旬刊 【民俗学(沖縄)】



吉成直樹[元法政大学沖縄文化研究所教授/地理学・民俗学]=著

定価: 本体 **5600** 円 [税別] / A5 判上製 / 248 頁

久高島祭祀の概略

Ⅱ 久高島と地方祭祀――八月行事を考える

Ⅲ 久高島と国家祭祀――国王の行幸をめぐる問題

Ⅳ ニライと「てだが穴」――地方祭祀と国家祭祀



に用社の

沖縄島南部、その東方洋上に浮かぶ「神の島」は、 冬至の朝、「てだが穴」(太陽の穴)に姿を変え、 そこから再生した太陽が昇るという。 その島で、かつて琉球国王「てだこ」(太陽王)の 久高島の地方祭祀から、 失われた国家祭祀を復元する手がかりを探る。

## 琉球祭祀の 「古層」が残る島

著者の1980年代の調査と、膨大に蓄積され た先行研究によって、久高島の祭祀を解き 直す一冊です。

神女就任儀礼のイザイホーが600年前から 続いてきたという記録があるように、久高



島は沖縄の民俗の古熊をとどめているとされますが、その久高島の祭祀から、失 われてしまった琉球王朝の国家祭祀の復元を試みます。

株式会社 七月社 ₹ 182-0015 東京都調布市八雲台 2-24-6 電話: 042-455-1385

帳合・番線

注文数

発行:七月社 電話:042-455-1385

吉成直樹=著

## 久高島祭祀論

A5 判上製/ 248 頁/本体 5600 円/ ISBN 978-4-909544-44-5 C1039

\*返品条件付き注文扱い

ご注文は JRC へ/ FAX **03-3294-2177** \* JRC 経由ですべての取次への出荷が可能です